

現場で活躍している先輩から (教員・保育士) NO. 1

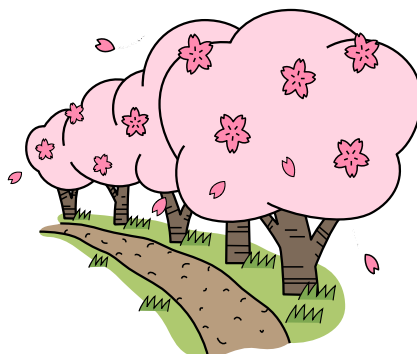
保育士・教員養成センター

人間学部が開設されてから8年目を迎えました。第1期生から教員や保育士として活躍している先輩が数多くいます。この度、2名の先輩から教員・保育士を目指す後輩へ熱いメッセージが届きました。

あきらめない気持ちを持つこと

私は現在、保育士として4歳児17名の担任をしています。夢であった保育者になり、2年目になりました。まだまだ新任ではありますが、子どもや保護者からすれば、ベテランも新人も関係なく同じ保育士なので、“新人だから”など言い訳は絶対しないよう、何事も全力で取り組んでいる毎日です。

私が担任としてこの一年取り組んできたことは、「ありがとう」、「ごめんなさい」を素直に相手に言うことの大切さを子どもたちに教えることです。人として人間として基本的なことではありますが、大人になってもなかなか言えない人がいます。担任として、クラス子どもたちにそのような大人になってほしくないと思い、実際に私が手本を見せたり、感謝されると心が温かくなったりすることを言葉で知らせてきました。また、相手にいやな思いをさせてしまったら、「ごめんなさい」と謝ることに関しては、子ども同士のトラブルを通して、どちらの立場にも立てるように働きかけて、子どもたちが自分自身で気付けるようにしてきました。簡単なようにも思いますが、子どもたちの発達にも個人差があるので、根気強く時間をかけて取り組みました。現在では、自然に、「ありがとう」、「ごめんなさい」を言う子どもたちになりました。



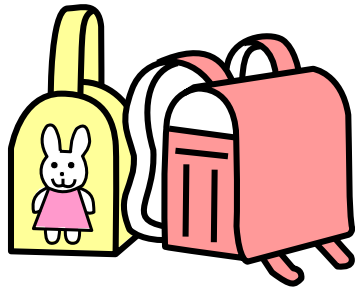
教職を目指している後輩へ望むこととしては、「どうせ無理だろう」など、最初からあきらめることはしてほしくありません。なりたいと思っているのなら、誰に言われようが、ひたすらがむしゃらに合格をつかみとりにいってください。あきらめたら目の前まできている合格も逃げて行きます。合格するためには並々ならぬ努力が必要であり、私自身も、一年間もがき苦しみ、死ぬ気で勉強しました。途中、先の見えないトンネルの中にいるような気持ちにもなりましたが、「絶対合格するんだ」という強い気持ちで乗り越えました。最後まであきらめない人に神様は味方をします。一生に一度だけだと決めて本気で強気で勉強をしてみてください。見えてくるものは、とてつもなく広い世界です。

(石巻市立桃生新田保育所：1期生 後藤聡美)

教員を目指しているみなさんへ

私は、昨年4月から小学校の先生になりました。小学校からの夢であった小学校の先生。嬉しい気持ちもちながら日々過ごしています。

私が担任として取り組んでいることは、子ども達と会話をする事です。普段から行っていることではないのと思うかもしれませんが、私は会話を大切にしています。四月の頃は、授業の準備や学級の仕事をしていた、子どもと会話をする時間が少ないと感じていました。そこで、休み時間や給食のときに私から声を掛けていくようにしました。最初は授業や宿題の事。そんな会話をしていくうちに様々なことを話すようになっていきました。クラスの様子を知るきっかけになりました。



これから先生を目指しているみなさんもたくさんの人と会話することを大切にしてください。そして、自分の中にこんな先生になりたいといった将来像を描いてみてください。その気持ちを忘れず、大学生活や勉強を頑張ってください。先生の仕事はとても楽しいです。秋田からみなさんのことを応援しています。頑張れ！

(湯沢市立雄勝小学校：2期生 菅 悠花)